

学校運営協議会だより

文責 CSコーディネーター 中村

**回
覧**

不 登 校

小学校・中学校における不登校児童・生徒数は、毎年増加傾向にあることを耳にします。そこで、不登校について、牧野指導主事に質問しました。



まず、不登校児童・生徒数は、どれくらいになっていますか？

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果(文部科学省)によると、小中学校における不登校児童生徒数は299,048人(前年244,940人)であり、前年度から54,108人(22.1%)増加し過去最高になりました。過去5年間の傾向も、小学校・中学校の不登校児童・生徒数及び割合は増加しています。

では、どのような状況になると、不登校児童・生徒にあたるのでしょうか？

不登校児童・生徒とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義されています。

不登校児童・生徒への支援は、どんな事を視点と考えますか？

「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会に自立することを目指す必要があります。

不登校の時期が休養等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益等が存在することに留意する必要があります。

学校は、不登校児童・生徒にどのように対応しているのでしょうか？

学校は、「自分という存在が大事にされている」「心の居場所になっている」「学校が自分にとって大切な意味のある場になっている」と実感できるような快適で温かみのある「安心して学べる」学校づくりを進めています。

教育委員会は、不登校児童・生徒にどのように対応しているのでしょうか？

教育委員会は、小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び指導に努めることを目的に、京極町不登校対策連絡協議会を設定し不登校対応・未然防止に努めています。

京極町不登校連絡協議会

写真は、今年4月26日(金)に行われた、不登校対策連絡協議会の様子です。

協議会には、各学校の校長(教頭)、住民福祉課係長、健康推進課保健師・社会福祉士、社会福祉協議会地域福祉課長、教育委員会学務課長、指導主事、CSコーディネーターなどにより、情報交流を行い、また、不登校未然防止、不登校児童生徒への対応を協議しました。



小6中学校登校日(体験入学)

写真は、10月30日(水)に行われた、中学校登校日(小6体験入学)の様子です。

中学校入学したばかりの生徒が、環境の変化や学習内容に馴染むことができず不登校になったり、いじめの問題が増加する現象を「中一ギャップ」といいます。これに対応するため、中学校において体験入学が行われました。



ここでスクールカウンセラーを紹介します。

児童・生徒の心の変化に寄り添い、いじめ・不登校の早期発見・早期対応するため、学校にはスクールカウンセラーが配置されています。利用可能日は学校からお知らせがあります。是非、児童・生徒のみなさんだけでなく、保護者の方も気軽にご活用下さい。



こどもの居場所づくり

～ (Kyo-coco 京極町共生型地域福祉拠点) ～
大活躍の「こども0円食堂」



10月26日(土)子どもデイ
きょうここには、カレーライスを食べるたくさんの子どもの姿がありました。

地域学校協働活動のイメージ



地域学校協働活動とは、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えると共に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

地域学校協働活動と学校運営協議会は車の両輪と言われています。

ICTの有効活用(新型コロナ感染対応で有効活用されたウェブカメラ)



新型コロナ感染対策の中で、学校(学級)閉鎖の時や自宅療養・自宅待機の時、全国の学校で大活躍したのがタブレット端末です。学校からは、授業や担任の先生からの連絡がリアルタイムで配信されました。

こうしたタブレット端末利用は、不登校対応時でも期待されており、一人一台端末を活用したオンライン授業の配信や学習教材の提供など学習支援に積極的に活用されています。また担任や養護教諭・スクールカウンセラーによる教育相談にも全国の学校での活用が報告されています。

NO14は、今年最後の「学校運営協議会だより」となります。